

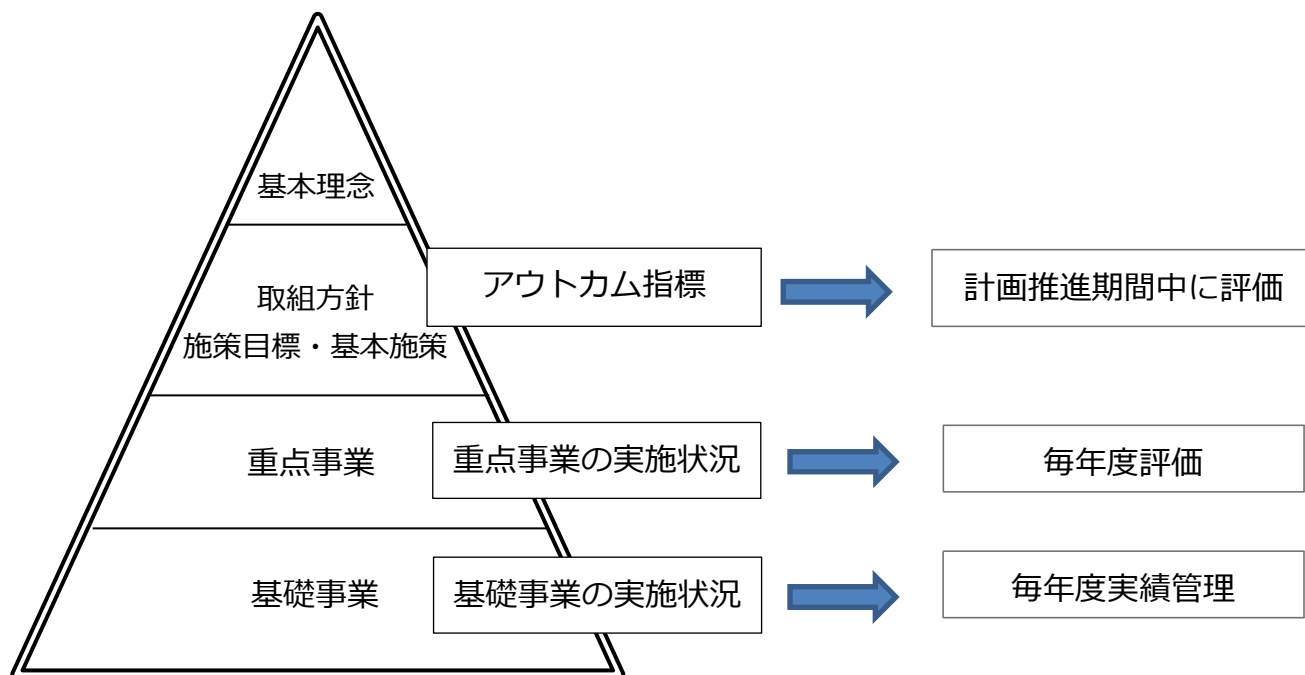
## 評価のしくみと評価指標について

### 1 評価のしくみ

子ども総合計画の評価については、計画の構造が多層的であることを踏まえ、「計画全体」、「重点事業」、「基礎事業」の3つのレベルを対象に評価を行う。

計画全体の評価については、次期計画の準備期間である2023年度に実施予定の意向調査などを活用し、「取組方針」ごとに指標を設けて行う。

「重点事業」と「基礎事業」に該当する各個別事業の実施状況の評価については事業実績調書等を用いて毎年実施する。



### 2 評価の具体的な方法について

#### (1) 計画全体の評価

計画全体の評価は「取組方針」、「施策目標・基本施策」レベルで市民意向調査結果等を用いて評価する。指標は【資料3-1】のとおり。

※「★」第8次豊田市総合計画のまちの状態指標または成果指標に設定されている

#### (2) 重点事業の評価

事業内容によって、進捗管理、目標値管理等で毎年評価していく。数値等で評価できない事業については、実績内容を評価して管理する。

例) 進捗管理・・・2020年までに〇〇センターを作る など

目標値管理・・・参加者数500人 など

#### (3) 基礎事業の管理

毎年、前年度における個別事業の実施状況を事業実績調書等により調査する。基本的には実績管理とするが、数値目標が立てられている事業については、目標値を基準に定量的な管理も行う。